

兵庫県緊急輸送道路ネットワーク計画等策定協議会  
南海トラフ巨大地震等災害発生時の緊急輸送道路等確保ワーキング

## 第2回ワーキング 議事概要

日時：平成30年2月28日（水） 15：00～17：00

場所：兵庫国道事務所 6階会議室

### 1. 議事項目

- 1) 第1回ワーキング議事概要 ……資料1
- 2) 兵庫県阪神淡路地域道路啓開計画（案）
  - (1) 前提条件（案） ……資料3
  - (2) 基本的な考え方（案） ……資料4, 5
  - (3) 今後の検討事項（案） ……資料6
- 3) 平成30年度検討事項とスケジュール（案） ……資料7

### 2. 主な議事内容

- 1) 第1回ワーキング議事概要  
特に意見なし
- 2) 兵庫県阪神淡路地域道路啓開計画（案）
  - (1) 前提状況（案）
    - ・ 県内の既往計画等に本州四国連絡高速道路株式会社の防災業務計画等を追加する。
  - (2) 基本的な考え方（案）
    - ・ 阪神地域のルート図においてハーバーハイウェイと国道2号浜手バイパスを繋げる。また、第二神明道路のランプを図示する。
    - ・ 淡路島西部にも津波浸水箇所があるため、進出ルートの検討が必要である。
    - ・ 被災想定については津波に限定せず、土砂崩れなど地震の揺れによる被災が発生することも考慮するなど柔軟性を持たせるべきである。

- ・国道2号、43号のゼロメートル地帯の迂回路の設定が必要である。また、設定においては大阪府側の接続道路の事業進捗状況などを考慮してほしい。
- ・津波浸水区域における道路啓開STEPは、津波警報の解除時間等の不確定要素や事業継続計画の対応等で課題があることを踏まえ、完了目標として設定する。
- ・高速道路会社が作成しているBCP計画との整合を図るべきである。
- ・以上の意見を踏まえ、今後も基本的な考え方について関係者間の調整が必要である。

### (3) 今後の検討事項（案）

#### ①啓開ルート計画

- ・沿岸部ルートの迂回路について記載が無いので、記載を追加する。
- ・代替ルートの定義を明確にする。

#### ②情報収集・連絡・連携

- ・一本化について、範囲や内容などの前提条件を整理したうえで、窓口の設置場所や決定権者等を具体的に設定し、各機関の役割分担を明確にする必要がある。
- ・被災現場で混乱が生じないように、兵庫県建設業協会に対する指揮命令系統を明確にする。

#### ③啓開作業計画

- ・橋梁段差の算定手法として、液状化による橋台背面の段差の他、連続高架橋の場合は支承からの桁の脱落という考え方もあるので検討すべきである。

### 3) 平成30年度の検討事項とスケジュール

特に意見なし

以上

平成30年3月19日

兵庫県緊急輸送道路ネットワーク計画等策定協議会  
南海トラフ巨大地震等災害発生時の緊急輸送道路等確保ワーキング

●平成30年2月28日第2回ワーキング以降の各機関からの意見

1. 阪神高速32号新神戸トンネルを基幹ルートに追加する。
2. 現在、各道路において緊急輸送道路の早期機能確保に向けた耐震補強を進めている状況のため、道路啓開の目標時間は各路線の耐震補強が完了した状態での目標であることを注釈等にて明記する。

以上